



柏の葉だより



市川市立第五中学校

第2号 令和5年5月2日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

令和5年度の中学校生活

令和5年度がスタートして1か月が過ぎようとしています。新しいクラスや新しい友達にも慣れてきましたが、新型コロナウイルス感染症対策による活動の制限が残り、ほとんどの生徒はマスクをしたままの学校生活です。しかし生徒たちの元気で前向きな姿勢は随所に見られています。また、先日は、保護者会・オープンスクールのためにご来校くださりありがとうございます。短い時間でしたが、学年・学級経営方針、部活動などにご理解いただけましたら幸いです。

さて、4月より市川市内の中学校は最終下校時間を早めています。4月から9月までは17:30、10月から3月までは17:00となります。それに伴い本校では生徒が放課後に活動する時間を確保するために朝読書や清掃の時間などを見直しました。

こうした改革は、令和5年度より始まる学校部活動の段階的・地域移行を見通した取り組みの1つです。今後も総合体育大会等における出場方法の確認や休日の地域移行などについて教育委員会などからの発信がありましたら、学校からも発信、確認していきます。

長野方面修学旅行

4月25日(火)から27日(木)まで3年生は長野方面に修学旅行に行ってきました。

今年度から京都関西方面から長野信州方面に変更しての初めての修学旅行で教職員の中には不安の面もありましたが、生徒たちの前向きな活動でその不安もかき消すことができた3日間となりました。

ここで今回の修学旅行の目的をもう一度確認します。

- 1 班別活動を通して、協調性や自主性、責任感を育む。
- 2 信州・長野の自然や生活に触れ、豊かな心を育む。
- 3 集団での活動、宿泊体験を通して、友情や連帯感を深める。
- 4 日常生活では触れる事がない自然に触れ、行動に移そうとする力を育む。
- 5 電子機器から切り離れた生活を通して、より豊かな生活を送ろうとする心を育む。

生徒たちは3日間楽しむことを前面に押し出し、意欲的に生活していましたが、今回の修学旅行で5つの目的を十分達成することができたと思います。FINAL STAGEを大切にして、自らを高め、互いの夢を支え合うことができたと思います。

1日目、2日目はあいにくの雨模様、新型コロナウイルス感染症対策が残りマスクをしたままの活動。中学生にとって校外学習での楽しみである「お菓子」が禁止されたままの修学旅行でした。しかし、実行委員会の生徒を中心として自分たちで運営し、やり遂げた達成感は今後の中学校生活に大きな自信となりました。



<陶芸体験>



<班員で協力していかだづくりに挑戦>



<善光寺拝観>



<善光寺参道にて>

体育祭の練習が始まります

5月になり、体育祭の練習が本格的に始まります。今年度はコロナ対応がない体育祭になります。しかしゴールデンウィークあけでの日程で短期集中での取り組みが必要です。急激な気温上昇の不安もある中、依然多くの生徒たちはマスクをしたまま生活をしています。また運動不足の傾向も見られます。熱中症対策には例年同様に注意して取り組まなければなりません。十分な睡眠時間を確保し、朝食をしっかりとる。タオル、水筒などの対策を生徒自身で考え、身に付けていくようお願いいたします。

尚、今年度の体育祭は保護者様の参観のコロナ禍に行っていた制限等はいたしませんが生徒たちの活動スペースを確保しているため保護者様の参観場所には限りがあります。当日お越しいただける場合は事前に配布される案内やプログラムを参考にして皆様で協力し合っただけようお願いいたします。



五中 HP を
ご覧ください

<文責・川俣>

